

銭太鼓・フラダンスで新春を祝う 97人参加
初参加のコマの演技・けん玉のワザに魅了
万三さんが世界を語る！安心する社会を！

外は冷たい北風が吹く2月17日、「第43回新春の集い」が97人の参加で開かれました。会場のかばらデイサービスセンターは、参加者の熱気で春が来た様な温かい空気に満ち溢れていました。あいさつの部では渡辺政次支部長、小川一八健和会本部事務局次長、秦野昭彦区議会議員が政治・経済の情勢、友の会の課題などに触れてあいさつ、日常の活動に対し感謝と激励の言葉を参加者に投げかけました。



うたごえサークル「こもれび」のみなさん

演芸の部は、新春の晴れやかな桜遊会のみなさんの銭太鼓で始まりました。南京玉すだれの演技の後には、大橋元気さん（28歳）が縄跳び、コマ回し、剣玉の合わせ曲芸を披露。剣玉の難しいウルトラC級の技が見事に決まると、みんな拍手喝采を送り、会場が楽しい雰囲気になりました。そして静か

なハーモニイの歌声サークル「こもれび」の皆さんによるコーラスと続きました。この歌声ではアンコールに心えて「四季の歌」を参加者も一緒になって歌い上げました。次の舞台を飾ったのは平和の祈りを込めて独唱するシャンソンの馬越さんです。いつもながらの美声に参加者もうつとりの表情があちこちで見られました。演芸の部の最後は髪に花飾りをして首にレイをまといたフラオハナのみなさんのフラダンスです。今回は踊り子が16人と、今までで最高的人数での踊りとなり、会場狭しとダンスを繰り広げた光景は圧巻でした。そして昼休みを挟み、午後は蒲原診療所グループの職員紹介と「万三先生・世界を語る」と題した記念講演をみんなで聞きました。吉田万三先生は「トランプ大統領も安倍首相も未来を語らない。過去の栄光にすがつていく」とその政治姿勢を



世界一周を成功させる

相がたくらむ改憲を許さず、戦争を回避する平和戦略で安心して暮らせる社会をつくらうと呼びかけました。この集いの最後は「お楽しみ抽選会」です。1等・2等のお米から、参加者みんなに配られた生ワカメをそれぞれ手にし楽しい「集い」を終わりました。

報告

嶺岸 宏

乳腺外科医師冤罪事件で無罪判決



事件は、2015年5月10日、東京都足立区の柳原病院で右胸から乳腺腫瘍を摘出する手術を執刀した外科医師が、この手術の女性患者から「術後に左胸を舐めるなどのわいせつ行為をされた」と訴えられ起訴されたものです。東京地裁は、患者の訴えは、麻酔から覚醒する際に起きるせん妄による幻覚である可能性があるが高いことや、検察が根拠と

幻覚である可能性があるが高いことや、検察が根拠とされた。しかし控訴するなど数百の団体や個人から要請があったにも関わらず検察側は高裁に控訴しました。無罪が確定するまで医療を守るため闘いましょう。報告 かばら支部役員会

乳腺外科 無罪判決報告集会

3月27日 18時30分
綾瀬プルミエホール

花見のご案内

場所 東綾瀬スイスイランドの前
日時 3月30日(土) 11時から
参加費 3000円
当日、持ち込み料理・お酒大歓迎です
窓口電話 3605-5594

「辺野古」 県民投票

反対 72% 賛成 19%

投票支援行動に参加して

去る2月20日から23日まで、東京民医連東部東葛ブロックを代表して沖縄県民投票支援行動に参加してきました。沖縄は東京の2月と違い、日中は25℃と夏のような暑さでした。初日は那覇への移動のみで、翌21日から辺野古新基地建设反対の座り込みを見学し、参加もしてきました。ここで



辺野古基地前の座り込みを激励しました

正反対の政府側の横暴な埋め立てに腹が立ちました。翌22・23日は那覇から少し離れた場所です。投票支援行動を行いました。全国の民医連から参加している仲間と4名でチームを組み、ハンドマイクを使い投票を呼びかける行動です。この応援でハンドマイクを握り「私でも支援が出来た」と役に立ったことを嬉しく思いました。今回の支援行動に参加して、何もしないでただ「政治が悪い！」

と陰で批判するだけでなく少しでも行動に移すこと。それを沖縄で学んだ様な気がします。余談ですが、沖縄料理はとても美味しかったです。蒲原診療所 看護師 早川 昌子

武器購入より 国民健康保険料に使う！！

国民健康保険料の負担が重過ぎる。区民として切実な実感です。その困っている住民に自治体の方から支援しようとする国側が「まった」をかけて止めにいかると聞きました。その国側はトランプ大統領の言いなりで武器購入のため莫大な金をつぎ込んでいます。このような国民の声を聞こうともしない安倍政権の政治姿勢には怒りを強く感じます。早く退陣してもらわないと暮らしが立ち行かなくなると危機感を持っています。

東和1丁目 山本健三



お詫び
2月号で囲碁・将棋サークルの会員数が編集の過程で、12人が1人となってしまいました。正確には12人でした。

蒲原歯科診療所 尾崎所長紹介 治療から予防へ 噛んで誤嚥なく

診療所」所長に就任しました。

以下が尾崎先生より皆さんに頂いたメッセージです。「私が、蒲原歯科診療所に入職してから20年、歯科の世界は『治療から予防』

へ大きく変化してきました。その結果80歳まで20本歯を残す8020を多くの方が達成されるようになりました。しかし高齢化社会がより進行する現代、ただ歯を保つだけではなく口から食事をとれるための機能、すなわち物を噛んで細かくしたもの唾液と混ぜ合わせて気管に誤嚥することなく飲み込む、という口全体の機能をどれだけ維持できるかがこれからの健康長寿の鍵となります。そのため私達は皆様が一生口から食べられるようなお手伝いをしていきます。私生活での趣味はジョギングとスポーツ観戦(特にサッカーです。)

過去に『東京マラソン』に

も出ました。尾崎先生のお話は以上ですが、先生は一般歯科治療はもちろん入れ歯からインプラントまで全てをこなすオールラウンドプレーヤーです。これからは「蒲原歯科診療所」の顔として頑張っていただけだと思います。最後に、蒲原歯科診療所での診療日は、「月曜日・水曜日・土曜日」です。よろしくお願ひします。

蒲原歯科診療所 事務長 佐藤 祐二



尾崎哲也先生